

標準仕様書

N s シリーズ

品 名 出入管理ソフト (W e b 対応)

型 式 N s - s 8 0 0

*** 目 次 ***

1. 概要	2
2. システム構成	2
2-1. 機器構成	2
2-2. 管理・接続台数	2
2-3. 動作環境	3
3. 基本機能	4
3-1. 個人管理（個人登録）	4
3-2. ゲート管理（ゲート編集）	7
3-3. 履歴データ管理（報告書）	7
3-4. 履歴表示（データモニタ）	7
3-5. フロア表示（マップステータス）	8
3-6. ステータス表示	8
3-7. システム設定	8
4. Webブラウザ機能	9
4-1. ログイン	9
4-2. ユーザーグループ（フィルター機能）	9
4-3. 画面	9
5. 系統図	10

1. 概要

本アプリケーションソフトは、Nsシリーズにて構成されるシステムのデータ管理を行うソフトである。

2. システム構成

2-1. 機器構成

1) 制御装置 (照合機)	(下記装置最大接続数の合計) 120台	
	Ns-T830	
	Ns-C810	
	Ns-C830	
2) 管理用サーバパソコン		1台
3) 管理用クライアントパソコン		最大5台
4) 管理用システムソフト	Ns-s800	1式

2-2. 管理・接続台数

本システムでは照合機を最大合計120台まで接続可能である。

ただし、入室側および退室側の両面に設置する場合は、システム全体で240台となる。

(1) ゲート数

最大120ゲート

2-3. 動作環境

(1) サーバースペック

1) ハードウェア

- a. CPU インテル Core 2 Duo 2.0GHz 以上
- b. メモリ 2GB以上
- c. HDD 100GB以上

2) 対応OS

- a. Windows Server 2003/Windows Server 2008
(ただし、WindowsXP SP3/Windows7の環境下でも動作可能)

3) ソフトウェア

- a. Webサーバ Apach Tomcat 5.5
- b. Java JRE 1.6
- c. データベース PostgreSQL 8.2.6
- d. Adobe Flash Player 10.0.45.2
注) 上記ソフトウェアはインストールCD内に含む
- e. Internet Explorer 6/7/8

(2) クライアントスペック

下記ソフトウェアが動作する環境であること。

1) ソフトウェア

- a. Internet Explorer6/7/8
- b. Adobe Flash Player 10.0.45.2

3. 基本機能

3-1. 個人管理（個人登録）

（1）個人登録件数

システム最大登録可能人員100,000名まで登録することが可能である。

（2）個人情報

1) 半角英数字1桁～20桁の個人コードを登録することが可能である。

2) 発行回数を半角英数字1桁で登録することが可能である。

3) 氏名を全角10文字まで登録することが可能である。

4) カナを全角20文字まで登録することが可能である。

5) 顔写真の登録が可能である。

6) 所属・区分の登録が可能である。

所属を登録するとその所属の通門デフォルトが、自動的に登録される。

7) 更新日の管理が可能である。

8) 利用開始日を設定することが可能である。

9) ゲートごとの通門可/不可の設定が可能である。

通門デフォルトと通門編集により個人ごとの通行設定が可能である。

10) 警備操作の許可・不可を設定することが可能である。

11) アンチパス制限が、有効か無効を設定することが可能である。

なお、アンチパスを行う際は、照合機を入室側と退室側両方に設置する必要がある。

12) 監視カードであるか否かの設定が可能である。

13) リーダ操作禁止が、有効か無効を設定することが可能である。

14) テンキー暗証番号半角数字4桁を登録することが可能である。

15) 運用方法は、各個人ID毎に下記5種類の運用方法から選択可能である。

- ・カード操作IDのみ照合可
- ・テンキー操作IDのみ照合可
- ・カード操作IDとテンキー操作ID両方の照合可
- ・カード操作ID+暗証番号（テンキー入力）
- ・テンキー操作ID+暗証番号（テンキー入力）

16) 任意の情報を登録することが可能である。

全角文字100文字を5項目まで登録可能である。

- (3) 所属を管理することが可能である。
 - 1) 1,000種類まで登録可能である。
 - 2) 名称、カナを全角30桁まで登録することが可能である。
 - 3) 所属は、通門デフォルトを設定することが可能である。
 - 4) 階層(例：部－課－係)で管理することが可能である。
- (4) 区分を管理することが可能である。
 - 1) 1,000種類まで登録可能である。
 - 2) 名称、カナを全角30桁まで登録することが可能である。
 - 3) 階層で管理することが可能である。
- (5) 入退室制限時間帯の設定を行うことが可能である。
 - 1) 時間帯はゲート毎に設定可能である。
 - 2) 入退室制限時間帯の設定は権限より制限が可能である。
- (6) 個人、所属、区分のインポート/エクスポートが可能である。
個人データのインポートする項目は、指定可能である。
- (7) 個人一覧
 - 1) 一覧から検索(個人コード、氏名、所属、区分)し個人を選択することが可能である。
 - 2) 一覧に表示した個人情報をファイル出力(CSV)または印刷することが可能である。
- (8) 複数の個人を一括で登録送信・削除・消去することが可能である。
- (9) 複数の個人のゲート通門可／不可の設定を一括変更することが可能である。

1) インポートファイルは下記通りとする。

項目	桁数	有効値	備考
個人 ID	20 桁+カンマ	半角英数字 0~9、A~Z、a~z	必須項目
氏名	30 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
氏名 (カナ)	60 桁+カンマ	半角全角カナ文字	NULL の場合未設定
顔写真アドレス	256 桁+カンマ	顔写真のファイル名称 半角英数字 0~9、A~Z、a~z	NULL の場合未設定
ユーザグループ ID1	10 桁+カンマ	半角数字 0~9	必須項目
所属コード 1	10 桁+カンマ	半角数字 0~9	必須項目
区分コード 1	10 桁+カンマ	半角数字 0~9	NULL の場合デフォルト値を適用
読取禁止有効	1 桁+カンマ	0: チェック無 1: チェック有	NULL の場合デフォルト値を適用
警備セット権限	1 桁+カンマ	0: チェック無 1: チェック有	NULL の場合デフォルト値を適用
警備解除権限	1 桁+カンマ	0: チェック無 1: チェック有	NULL の場合デフォルト値を適用
アンチパス有効	1 桁+カンマ	0: チェック無 1: チェック有	NULL の場合デフォルト値を適用
監視カード	1 桁+カンマ	0: チェック無 1: チェック有	NULL の場合デフォルト値を適用
有効期限開始年月日	10 桁+カンマ	0~9、/ (例: 2010/06/14)	NULL の場合未設定
有効期限終了年月日	10 桁+カンマ	0~9、/ (例: 2011/06/14)	NULL の場合未設定
発行回数	1 桁+カンマ	0~9、A~Z	NULL の場合 0 を設定
Ns 制限	1 桁+カンマ	0: 一般ユーザー 1: 管理者 2: 設置管理者	NULL の場合一般ユーザーを設定
認証方式	1 桁+カンマ	0: カード操作IDのみ照合可 1: テンキー操作IDのみ照合可 2: カード操作IDとテンキー操作ID 両方の照合可 3: カード操作ID+暗証番号 (テン キー入力) 4: テンキー操作ID+暗証番号 (テン キー入力)	必須項目
備考 1	100 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
備考 2	100 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
備考 3	100 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
備考 4	100 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
備考 5	100 桁+カンマ	半角全角文字	NULL の場合未設定
暗証番号	4 桁+カンマ	0~9、A~Z	NULL の場合 0000 を設定
通門情報	1 桁+カンマ …登録ゲート数分繰り 返す	半角数字 0~9 と* 登録されているゲート数全ての 通門情報	必須項目

CSVファイルの2行目からを有効値とし、インポートを行う。

3-2. ゲート管理（ゲート編集）

- (1) ゲート名称を全角30文字にて設定することが可能である。
- (2) 連続解錠時間帯の設定を最大100種類まで設定することが可能である。
- (3) ゲートごとに使用する連続解錠時間帯の設定を行うことが可能である。
- (4) ゲート情報を印刷またはCSVファイルでインポート／エクスポートが可能である。
- (5) 連続解錠時間帯設定を一斉送信することが可能である。

3-3. 履歴データ管理（報告書）

- (1) 履歴データの保存件数
 - 1) パソコンのハードディスクの空き容量に依存する。
 - 2) 履歴データの一括バックアップを行うことが可能である。
- (2) 履歴データを以下の条件を設定し、抽出することが可能である。
 - 1) 対象期間は、年月日時分～年月日時分まで指定することが可能である。
 - 2) 対象ゲートは対象の1つのゲートまたは複数ゲートを選択することが可能である。
 - 3) 対象個人は複数の個人または複数の所属・区分を指定することが可能である。
 - 4) 対象履歴を、全履歴、警報履歴、任意の履歴選択することが可能である。
- (3) 抽出結果の表示項目は、任意に設定することが可能である。
- (4) 抽出結果に任意のタイトルを付けることが可能である。
- (5) 抽出した結果をファイル出力(excel)または印刷することが可能である。

3-4. 履歴表示（データモニタ）

- (1) 発生したデータをリアルタイムに表示することが可能である。
1ページでの表示件数は100件とする。
- (2) 表示する項目は、設定変更可能である。
 - 1) 発生日時
 - 2) 個人情報(個人コード、氏名、カナ、所属、区分、顔画像、備考 等)
 - 3) ゲート情報(ゲート番号、ゲート名称)
 - 4) 履歴内容
 - 5) 履歴画像
- (3) 表示する履歴を全件、警報、ゲート、履歴内容で絞り込むことが可能である。
- (4) 履歴から、その個人の編集および登録が可能である。

3-5. フロア表示 (マップステータス)

- (1) 画面構成
 - 1) マップメイン画面には、現在操作しているフロアを表示する。
- (2) ゲートグループを設定することで、遠隔操作を一斉に行うことが可能である。
- (3) ゲートの状態をマップ上に表示することが可能である。
 - 1) ポイントは、記号や絵を設定することが可能である。
 - 2) ポイントのサイズは、設定変更可能である。
 - 3) 状態変化により、ポイントの色および形状が変化する。
- (4) 遠隔操作画面には、ゲート情報(ゲート番号/名称、状態、ガイダンス、メモ欄、そのゲートの発生履歴情報)を表示する。
- (5) ゲートを選択し以下の操作が可能である。
 - 1) ゲートを遠隔で一回解錠、連続解錠、施錠、警備セット、警備解除、発報リセット、させることが可能である。
 - 2) 通行可能者一覧を表示することが可能である。
 - 3) 選択したゲートに関わる履歴を表示させることが可能である。
- (6) マップ用データは、画像ファイル(JPG、GIF)であれば登録可能である。

3-6. ステータス表示

- (1) ゲートの状態を一覧で表示することが可能である。
- (2) ゲート状態(施解錠・扉開閉・警備・警報)をリアルタイムに表示することが可能である。
- (3) ゲートを遠隔で一回解錠、連続解錠、施錠、警備セット、警備解除、発報リセットをする事が可能である。
- (4) 遠隔操作画面には、ゲート情報(ゲート番号/名称、状態、ガイダンス、メモ欄、そのゲートの発生履歴情報)を表示する。

3-7. システム設定

- (1) 現在から1年間分の平日・休日・特日1~8まで任意に設定(装置へ反映)することが可能である。

ただし、アプリケーション上では2099年まで登録可能である。

 - 1) カレンダーデータは、システムで共有またはゲート毎に設定可能である。
- (2) システム全体の時刻を、同期させることが可能である。
- (3) システムの設定データ、登録データ、履歴データをバックアップすることが可能である。

4. Webブラウザ機能

4-1. ログイン

- (1) システムに登録されたログインIDとパスワードによりログインすることが可能である。
- (2) ログインした個人のログインIDおよび氏名を画面に表示する。
- (3) ログインID毎に登録編集できる機能および閲覧できる機能を設定可能である。

4-2. ユーザーグループ（フィルター機能）

- (1) 個人コード、ゲート、ログインIDに関連付けを行い、ログインID毎に閲覧・登録できるデータに制限をかけることが可能である。
該当ログインIDでログインした場合に、閲覧・登録できるゲート、できないゲートの設定が可能である。

4-3. 画面

- (1) 以下の大項目ごとにタブ表示を行う。
 - 1) メインビュー
表示する機能は、ステータス表示画面、マップメイン画面、データモニタメイン画面である。
 - 2) 運用
表示する機能は、個人登録、連続解錠時間帯、報告書である。
 - 3) 設定
 - a. 設定A
表示する機能は、ユーザーグループ設定、所属、区分、カレンダー、入退室制限、時刻設定である。
 - b. 設定B
表示する機能は、バックアップ、ゲートグループである。
 - c. 設定C
表示する機能は、WebソフトログインID設定である。
 - 4) システム
表示する機能は、フロア階層登録、フロア登録、エリア管理、ゲートメンテ、初期設定である。
- (2) ブラウザの画面枠のドラックにより、ブラウザ内の各機能画面のサイズも変化する。

5. 系統図

系統図を以下に示す。

